

# 都市再生整備計画（第1回変更）

てんくう しろ たけだちく  
天空の城があるまち竹田地区

ひょうご あさごし  
兵庫県 朝来市

平成25年1月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	兵庫県	市町村名	あさごし 朝来市	地区名	てんくう しる たけだ ちく 天空の城があるまち竹田地区	面積	600.0 ha
計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度				

### 目標

- 大目標: 竹田城跡を核とした魅力あるまちづくり
- 目標1 歴史的景観及び自然景観を活かした観光交流による地域の活性化
- 目標2 安全・安心で魅力ある地域の創出

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

- ・竹田地区は、東側に円山川と但馬吉野と呼ばれる北近畿随一の桜の名所がある立雲峡、西側に昭和18年国史跡に指定された竹田城跡に挟まれた城下町である。近年の歴史・山城ブームにより、竹田地区への観光入り込み客数は増加し続けている。
- ・竹田地区は、竹田城の築城と共に発展した城下町で、その後、宿場町として栄え、今もなお、宿場町としての佇まいを残している。そして、町中には、町屋によって形成される歴史的街なみが駅前通に沿って散在的に残っている。さらに、JR竹田駅の西側には、善證寺、常光寺、勝賢寺、法樹寺の4つの寺が並び建つ寺町と呼ばれる一画が形成されるなど、歴史的に価値のあるものも多く、景観の保全に努めている地域であり平成10年には、兵庫県の景観形成地区に指定されている。
- ・竹田地区では、街なみ環境整備事業など歴史的景観を活用した取り組みを進めているほか、竹田地区まちづくり推進協議会などが主体となって、街なみ保存などを通じた潤いのある景観づくりが進められている。
- ・竹田地区は、竹田城跡などの貴重な遺跡や県立公園などの豊かな自然景観など多様な観光資源を有し、わだやま観光案内所などを活用した情報発信、観光関連施設整備とともに、地域住民と一体となった各種イベントの実施により観光振興を図ってきました。

#### 課題

- ・歴史的景観や自然景観などを単に保全するだけでなく、市民との協働による魅力的な景観の形成によってまちづくりを推進し、観光交流などの分野との連携により地域の活性化につなげる必要がある。
- ・竹田城跡を核とした観光情報の発信強化や住民のまちづくり団体などと連携した観光・交流イベントの充実を図り、交流人口の増加を図ることで、地域の活性化を推進する必要がある。
- ・道路について、幅員の狭い箇所、見通しの悪い箇所の解消や歩道の設置など交通渋滞の緩和・安全な道路環境づくりが必要な路線が多くある。

#### 将来ビジョン(中長期)

- ・朝来市総合計画では  
歴史的景観を活かしたまちづくりを進めるとともに、地域の活性化や観光まちづくりを推進します。  
景観を活かした地域整備を進めるとともに、住民のまちづくり団体などとの連携を図り、回遊性の確保により来訪者の滞在時間を拡大させながら、賑わいのあるまちづくりを推進する。  
歴史遺産や街なみ景観を活かした快適で良好な市街地整備を推進します。  
自転車・歩行者が安全に通行できるよう歩道整備や交通安全施設・誘導サインの設置を推進します。  
住民のまちづくり団体などと連携を図り、地域が主体となった観光交流イベントを開催し、地域活性化及び交流人口の増加を図る。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	目標年度	
				基準年度	目標年度	目標年度	
わだやま観光案内所利用者数	千人/年	わだやま観光案内所年間利用者数	竹田城跡と歴史的街なみをリンクさせることにより、まち中への来訪者を増やし観光交流を促進し、地域活性化へつなげる。	15	20	平成22年度	平成28年度
住民のまちづくりへの参加度	人/年	竹田地区で行われるお城祭り等への住民スタッフ数やまちづくり事業への参加スタッフ数	地域住民が主体となって、まちづくり活動やまちづくり施設の整備計画を検討することで、住民目線に立った魅力ある地域を創出する。	52	92	平成22年度	平成28年度
来訪者の地区内滞在時間、2時間以上の割合	%	竹田地区への来訪者の滞在時間が2時間以上の割合	観光交流による賑わいのあるまちづくりを行うため、観光客の滞在時間を拡大させる。	10	24	平成22年度	平成28年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>○整備方針1(歴史的景観及び自然景観を活かした観光交流による地域の活性化)</p> <p>・国史跡竹田城跡などの歴史的資産の保全・活用を行うことで、観光客の入り込み客数を増加させ、歴史的景観等の保全に留意し、マニアをはじめ、個人客や小グループ客、団体客、高齢者や障害者など多様な来訪者に、竹田城跡、城下町や立雲峡などの自然景観の魅力を提供し、観光客と地域住民が共存できる施設整備を行ない、地域経済の活性化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園(基幹事業／山城公園整備事業・大手門公園整備事業・立雲峡公園整備事業・山城の郷公園整備事業)</li> <li>・地域生活基盤施設(基幹事業／ポケットパーク整備事業・サイン整備事業・山城の郷駐車場整備事業)</li> <li>・高質空間形成施設(基幹事業／市道竹田城遊歩道線整備事業・市道虎臥城線整備事業・城山線整備事業・観音寺山登山道整備事業・モニュメント整備事業・竹田城跡照明整備事業・市道竹田城歩道線整備事業)</li> <li>・地域創造支援事業(提案事業／竹田城跡周辺環境整備事業)</li> <li>・地域創造支援事業(提案事業／竹田城跡等歴史文化遺産調査事業)</li> <li>・地域創造支援事業(提案事業／交通システムの研究事業)</li> <li>・事業活用調査(提案事業／事業効果分析)</li> <li>・まちづくり活動推進事業(提案事業／まちづくり活動支援)</li> </ul>
<p>○整備方針2(安全・安心で魅力ある地域の創出)</p> <p>・まち中と景勝地を結ぶ道路について、狭隘・急カーブ箇所の道路改築を行うことで、安心・安全な道路ネットワークを構築し、地域の魅力向上につながる提案も行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路(基幹事業／市道虎臥城線改築事業・市道城山久世田線改築事業・県道溝黒竹田線改築事業・市道立雲峡線改築事業)</li> <li>・地域創造支援事業(提案事業／城山線改築事業)</li> <li>・地域創造支援事業(提案事業／水路整備事業)</li> </ul>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○竹田地区街なみ環境整備事業 竹田地区の生活文化の様式を今に伝え、伝統ある地域の個性を表すとともに、高齢者や障害者など全ての人がゆとりとやすらぎを持って暮らせる町並みの形成を図っている。</li> <li>○竹田地区まちづくり推進協議会 竹田地区が景観形成地区に指定されたのを機に、地区内の行政区の代表者が中心となって、住民主体の景観形成活動を続けている。具体的には、まちづくりシンポジウムの開催や機関誌の発行など景観に対する啓蒙活動を実施している。</li> <li>○竹田城跡と城下町の保存活用検討委員会 奈良大学坂井秀弥教授を中心に、竹田城跡と城下町について文化的・歴史的な評価調査を行い、保存活用について検討を行っている。平成22年度から3カ年かけて調査を実施する。</li> <li>○産学連携 平成22年度には商工会・阪南大学、平成23年度には成美大学と連携しながら、竹田地区来訪者の意識調査を実施している。</li> </ul>	

都市再生整備計画の区域

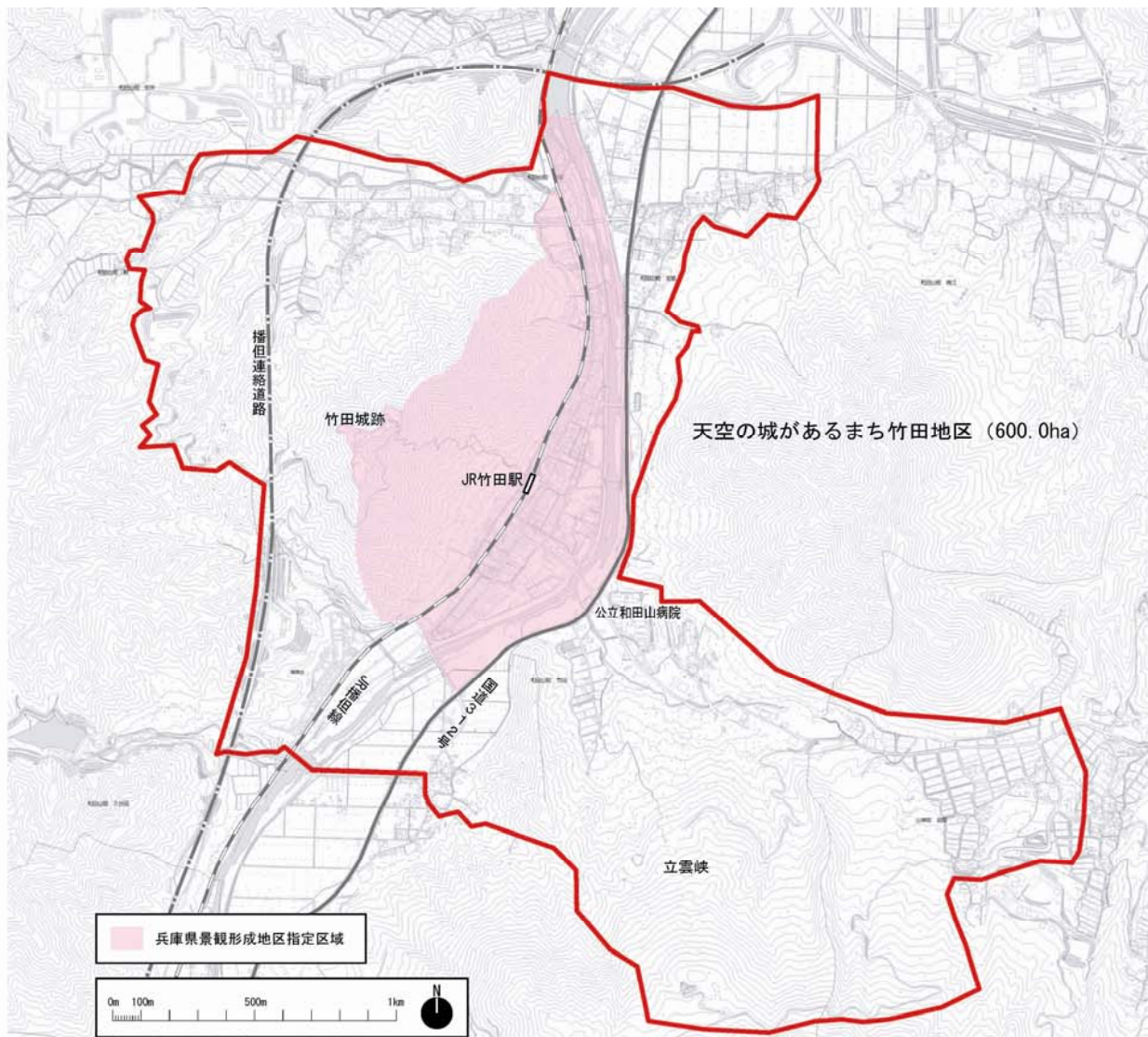
てんくう しよ たけだちく あさこし  
 天空の城があるまち竹田地区(兵庫県朝来市)

面積

600.0ha

区域

わだやま ちよう やすい との たけだ かつ くせだ  
 和田山町 安井・殿・竹田・加都・久世田の一部



交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	960.0	交付限度額	384.0	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		市道虎臥城線改築事業	朝来市	直	L=1,600m	26	28	26	28	42	42	42		42
		市道城山久世田線改築事業	朝来市	直	L=1,200m	27	28	27	28	30	30	30		30
		県道溝黒竹田線改築事業	朝来市	直	L=700m	25	27	25	27	60	60	60		60
		市道立雲峡線改築事業	朝来市	直	L=1,200m	25	27	25	27	72	72	72		72
公園		山城公園整備事業	朝来市	直	A=1,000㎡	24	26	24	26	50	50	50		50
		大手門公園整備事業	朝来市	直	A=1,000㎡	24	25	24	25	85	85	85		85
		立雲峡公園整備事業	朝来市	直	A=5,000㎡	26	28	26	28	50	50	50		50
		山城の郷公園整備事業	朝来市	直	A=1,000㎡	24	25	24	25	30	30	30		30
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設		ポケットパーク整備事業	朝来市	直	3箇所	26	27	26	27	50	50	50		50
		サイン整備事業	朝来市	直	14箇所	24	25	24	25	28	28	28		28
		山城の郷駐車場整備事業	朝来市	直	A=5,000㎡	24	25	24	25	40	40	40		10
高質空間形成施設		竹田城遊歩道線整備事業	朝来市	直	L=700m	27	28	27	28	23	23	23		23
		虎臥城線整備事業	朝来市	直	L=1,600m	25	27	25	27	67	67	67		67
		城山線整備事業	朝来市	直	L=2,300m	25	26	25	26	46	46	46		46
		観音寺山登山道整備事業	朝来市	直	L=1,800m	27	28	27	28	66	66	66		66
		モニュメント整備事業	朝来市	直	3箇所	26	28	26	28	18	18	18		18
		竹田城跡照明整備事業	朝来市	直	1箇所	27	28	27	28	50	50	50		50
		竹田城歩道線整備事業	朝来市	直	L=800m	25	26	25	26	30	30	30		30
高次都市施設														
既存建造物活用事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
防災街区整備事業														
合計										837	837	837	0	807

...A

提案事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業		城山線改築事業	朝来市	直	L=2,300m	25	28	25	28	48	48	48		48
		竹田城跡周辺環境整備事業	朝来市	直	L=1,000m	24	26	24	26	35	35	35		35
		交通システムの研究事業	朝来市	直	—	24	26	24	26	20	20	20		20
		水路整備事業	朝来市	直	L=500m	24	25	24	25	36	36	36		36
		竹田城跡等歴史文化遺産調査事業	朝来市	直	—	24	26	24	26	6	6	6		6
事業活用調査		事業効果分析	朝来市	直	—	27	28	27	28	5	5	5		5
まちづくり活動推進事業		まちづくり活動支援事業	朝来市	直	—	24	28	24	28	3	3	3		3
合計										153	153	153	0	153

合計(A+B) 960 ...B

(参考)関連事業		事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
事業	直轄					補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度		
街なみ環境整備事業		竹田地区	朝来市	国土交通省	64.0ha	○				17	27	792
合計												792

0

# 天空の城があるまち竹田地区(兵庫県朝来市)整備方針概要図

目標	大目標: 竹田城跡を核とした魅力あるまちづくり	代表的な指標	わだやま観光案内所利用者数 (千人/年)	15	(平成22年度) →	20	(平成28年度)
	目標1: 歴史的景観及び自然景観を活かした観光交流による地域の活性化		住民のまちづくりへの参加度 (人/年)	52	(平成22年度) →	92	(平成28年度)
	目標2: 安全・安心で魅力ある地域の創出		来訪者の地区内滞在時間、2時間以上の割合 (%)	10	(平成22年度) →	24	(平成28年度)

